

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ  
HULFT 事業部

## Office 365 の TLS1.0、1.1 暗号化による接続の 無効化に関する PIMSYNC への影響について

平素より、技術テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
Microsoft 社から、2018年3月1日以降、TLS1.0、1.1 暗号化による Office 365 への接続を無効化し、TLS1.2 での接続を必須とする旨の告知がありました。  
PIMSYNC 2.0、2.1 では TLS1.2 に未対応のため、Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタを使用している場合に影響を受けます。  
同アダプタをお使いのお客様、また、今後ご使用を検討されているお客様は、下記をご確認ください  
さいますようお願いいたします。

－記－

### 1. 対象製品及びバージョン

- PIMSYNC Ver. 2.0 ～ 2.1

※ PIMSYNC 2.2 では TLS 1.2 に対応済のため、TLS 1.1 無効化の影響を受けません。

### 2. 影響範囲

- Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタ

### 3. 今後の対応

現在ご使用中のバージョンにより、必要な対応が異なります。  
詳細に関しては、以下をご参照ください。

#### ① PIMSYNC 2.1 をご使用中のお客様

TLS1.2 で Office 365 Exchange Online に接続するパッチを2月21日にリリースしました。  
myHULFT よりダウンロードが可能です。

(ダウンロードファイル名：PIM21\_180221\_13.zip)

■ご使用環境へのパッチ適用状況により本パッチの適用方法が異なります。

適用方法は以下の3パターンとなります。

- ・新規インストール環境またはパッチ「PIM21\_140630\_01」まで適用済み環境の場合
- ・パッチ「PIM21\_140718\_02」まで適用済み環境の場合
- ・パッチ「PIM21\_140930\_03」以降を適用済み環境の場合

詳細については本パッチに同梱の README をご参照ください。

■パッチ適用状況の確認方法

\$PIMSYNC\_HOME/config/PATCH-INF ディレクトリをご確認ください。

PATCH-INF ディレクトリ内には適用したパッチのパッチ名を付与したディレクトリがあります。

※\$PIMSYNC\_HOME は、PIMSYNC インストールディレクトリとなります

例：

ディレクトリ「PIM21\_140630\_01」がある場合は、パッチ「PIM21\_140630\_01」が適用済みであることを表します。

② PIMSYNC 2.0 をご使用中のお客様

PIMSYNC 2.0 で使用している Java は、TLS1.2 に対応することができません。

そのため PIMSYNC 2.1 以上へのアップグレードをご検討ください。

なお、TLS1.0、1.1 での接続を継続したまま TLS1.0、1.1 による接続が無効化された場合、Office 365 Exchange Online に接続できなくなります。

■ 補足

TLS1.0、1.1 暗号化による Office 365 への接続の無効化につきましては、Microsoft 社の以下の URL に告知がございます。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4057306/preparing-for-tls-1-2-in-office-365>

以上

【改訂履歴】

2018年2月6日	初版作成
2018年2月21日	3. 今後の対応 にパッチのリリース情報を更新